

# しげやま



令和3(2021)年  
2月20日発行  
**No.175**

2

2月20日号もくじ

- 特集 **誰でも参加できる地域の居場所です！** 2  
ふれあい・いきいきサロン  
〈シリーズ〉食を通じた地域活動 3  
新宿区内社会福祉法人連絡会  
講座・イベント インフォメーション  
後見人等交流会 4  
共同募金報告／車椅子の無償譲渡  
寄附芳名／四字熟語クロスワード



特集

だれもが安心して暮らせる 「新宿型福祉コミュニティ」の実現を目指して

誰でも参加できる

地域の居場所です！



ふれあい・いきいきサロン

特集

# 誰でも気軽に参加できる地域の居場所です!

自宅で過ごす時間をはじめ、仕事帰りに立ち寄る喫茶店や休日のキャンプなど、人にはさまざまな「居場所」がありますが、新宿社協では、**地域交流の場としての「居場所」**をつくるお手伝いをしています。

ふれあい・いきいきサロン（以下、サロン）は、地域に住む誰もが気軽に参加できる憩いの場です。

現在、区内には計77サロン（2/4 現在）が運営されていますが、女性に比べて男性の参加が少ない状況があります。最近では、男性でも参加しやすいように男性による男性のためのサロンや、定年退職後や現役で仕事をしている男性が空いた時間を活用して、地域交流のために立ち上げたサロンなどが徐々に増えています。

今号では、その皆さんの声を一部紹介します。

人と話して  
ストレス  
発散!

近所に  
顔見知り  
が増えた!

通うだけ  
でも運動に  
なる!

誰でも  
始められる!



## サロンをはじめたきっかけ

- 将来に向けてのライフワークの一つとして社会貢献活動に関与しようと、区の認知症講座を受講したり新宿社協のボランティア登録をした。その後、地域のサロン立ち上げの話があり、代表を引き受けることになった。
- さまざまなボランティア活動で、女性に比べて男性の参加が少ないと感じていたので、男性だけが集まるサロンはどうかという声があがったこと。



## 良かったこと・大変だったこと

- 普段の生活では関わることのない方々と知り合えたり、今まで知らなかった近所さんの声を聞くことができた。
- 多世代で交流できるサロンとして立ち上げたが、多様な方に認知され、参加いただくのは想像以上に難しいことだった。
- 男性同士ならではの会話を楽しむことができ、このような場所の需要がかなりあることもわかった。

## 感染症の影響で大きく変わった生活の中での気付きなど



オンラインで打ち合わせをすることも増えましたが、実際に顔と顔を合わせて話をする大切さを痛感しました。

単身高齢の方や、さまざまな課題を抱えて孤立されている方が増えている昨今、「地域に居場所があること」「地域がつながっていること」の重要性を感じています。



感染予防のため休止していましたが、11月に仮再開しました。大半の方が「ステイホームで話し相手もなく、足腰がすっかり弱ってしまった」「歩いて会場に来て懐かしい顔を見つけ話したり笑ったりできた」「月1回の開催でもサロンの意義を改めて感じた」と言っておられました。感染に気をつけながら、この居場所を何とか残していきたいです。



## 開催時、新型コロナウイルス感染症の予防に配慮していること

- 換気を行いながら、短時間で開催
- 人数を減らすまたは通常より広い部屋で開催する
- 検温、手指消毒、マスク・フェイスシールドの使用
- お茶はペットボトル、菓子は個包装のものにする など

## 新型コロナウイルス感染症対応のための活動助成

新宿社協に登録しているサロン向けに、感染対応に関連する経費の助成を行っています。この助成には、地域から寄せられた赤い羽根共同募金と寄附金が活用されています。



## 老若男女問わず さまざまな活動があります!

- 子育てなどの情報交換
- ヨガや健康体操
- 囲碁・将棋
- 手芸・絵手紙 など



※新型コロナウイルス感染予防のため、休止しているサロンがあります。詳しくはお問合せください。

サロンに  
参加したい

見学からはじめて  
みませんか?

サロンを  
開催したい

立ち上げのお手伝いを  
しています

## サロン参加者の皆さんから

自分の足で行く楽しみや、演奏などの催し物、皆さんとのお話など全てが良いです。本当に楽しみにしているので、無理のない範囲で再開を心待ちにしています。

(60代 女性)

学校も会社も卒業し、人との付き合いが減った中で、毎月決まった日にいるな方と時間を過ごせるのはとても楽しいです。

(80代 男性)

地域の皆さんと情報交換したり、子育てのアドバイスをもらったり、ストレス発散にもなります!

(40代 女性)

外出や人との交流、社会参加を控えることは、感染リスクを抑えるメリットがある反面、身体・認知機能の低下、うつに至るリスクが高まるというデメリットがあるとも言われています。新型コロナウイルス感染症が収まらない中でも、サロンを開催する、サロンへ参加する意義が見直されています。

現在、感染対策を十分に行いながら広い会場を使用したり、オンラインで行うサロン（オンラインの使い方も丁寧にレクチャーします!）もありますので、ぜひ一度ご相談ください。

問合せ

地域活動支援課 ☎(5273) 9191 / ☎(5273) 3082

シリーズ



# を通じた 地域活動

第2弾

今号のテーマ

## 「子ども食堂」

現在は、新型コロナウイルス感染予防として、食事をみんなで食べるスタイルから、お弁当を配布するスタイルに変更しているところが多くあります。

5月号で紹介した地域のボランティアの皆さんが立ち上げた子ども食堂の他にも、居酒屋やラーメン屋など自前の設備を活かした子ども食堂も立ち上がっています。

今回は、高齢者施設が持つ厨房設備や地域交流スペース、ネットワークを活かし、社会貢献、地域貢献の一つとして実施している子ども食堂をご紹介します。

他にも、区内の子ども食堂情報を新宿社協HPで紹介していますので、ぜひご覧ください。

皆さんからの情報もぜひお寄せください  
(新宿社協HP)



令和2年度の新宿社協だより「けやき」では、新宿区内のさまざまな団体による「食」を通じた地域貢献活動をご紹介します。

### 社会福祉法人 サン サンの家 (地域交流カフェスペース)

社会福祉法人サンによる地域交流、公益的な取り組み※のひとつとして、地域住民の方、学校関係者の方の参加と協力をいただきながら開催しています。

当初は令和2年春先に開始予定でしたが、スタートが遅れていた中、お弁当という形で実施してみることにになりました。今後も状況を見ながら、地域の皆さんと少しずつ進めていければと考えております。

※「公益的な取り組み」…右下「新宿区内社会福祉法人連絡会」参照

場 所：社会福祉法人 サン (高田馬場 1-20-1)

開催日：月1回、不定期開催

参加費：未就学児 無料、小学生～高校生 100円、  
大学生以上 200円

地域の皆さんの  
手作りです！



美味しい食事を食べる、誰かと食べる、そんな時間が大切で、人の楽しみや喜びとなります。

食事をする大切さに加え、人や家庭が地域社会から孤立しない為にも必要な場所になることを望みます。

食事の支援を必要とするさまざまな背景や事情があり、食事を提供する側にも思いがありますが「する」「される」に関係なく自然な人と人との関わりにより、当たり前前の挨拶やちょっとした言葉掛けが増える地域となることも大きな目的の1つです。

その先には、子どもに限らず、高齢者の方や学生など多世代交流の場となる事も目指しています。皆様、宜しくお願いします。



社会福祉法人 サン  
地域連携 福祉総合相談員  
矢澤 成晃さん

## 講座・イベント インフォメーション

- 2月4日時点の情報です。変更になる場合がありますので、詳しくはHPまたはお問合せください。
- 各種講座は、新型コロナウイルス感染予防対策のうえで実施します。

### 活躍の場が待っている！！ 地域で見つける充実セカンドライフ

【日 時】 3月22日(月)  
午後1時30分～午後3時30分 **3/12 〆切**

【講 師】 有限会社アリア  
代表取締役 松本 すみこ氏

【内 容】 人生100年時代と言われ、現役時代より定年後の人生のほうが長く、どう生きるかが多くの人の関心事になっています。この講座では、定年後の生き方や地域での活躍の場の見つけ方をお話します。

【開催方法】 オンライン開催(Web会議ツールZoomを使用)  
※オンラインでの参加が難しい方は、新宿社協会議室(高田馬場1-17-20)にて参加できます。(先着10名)  
※後日、希望者限定で動画を配信します。当日参加できない方など、ご希望の方はお申込み下さい。

【対 象】 定年退職前後の方、地域活動に関心のある方  
【定 員】 100名 【参加費】 無料

【申 込 み】 電話、FAX、Eメールで、①氏名②住所③電話番号またはFAX番号④メールアドレスを明記のうえお申込み下さい。(申込多数の場合は抽選。落選の場合のみお知らせします。)

☎ 地域活動支援課 ☎(5273)9191 / FAX(5273)3082  
✉ shinjuku-vc@shinjuku-shakyo.jp

区内の社会福祉法人同士が協力して  
地域福祉活動を行うためのネットワークです

## 新宿区内社会福祉法人連絡会

新宿区内社会福祉法人連絡会は、区内の社会福祉法人の情報交換や相互支援における関係づくり、地域の課題に対して連携・協働による公益的な活動を実践していくことを目的としています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、連絡会の活動はメールリストでの情報交換やオンライン開催となりましたが、その中で、新たなウイルスに対する各法人の対応や展覧、苦勞話など共有を図りました。

私たち一つひとつの団体がこの新宿区の一員として機能し、新宿のまちがより良く、あたたかいまちになることに貢献していきたいです。



現在 44 団体が  
参加しています！  
(2/4 現在)



代表幹事 今井 康之さん  
(新宿区障害者福祉協会 専務理事)

ダイバーシティ  
ウォールパズルアート  
障害者施設、企業、学校など、皆で協力して一つの作品を作り上げました(全長約10メートル！)



フード  
ドライブ  
区内福祉施設へ  
配布されました

### これまでの取り組みの例 (H29～R1年度)

- 社会福祉法制度改革と人材育成をテーマにした講義や情報交換会の開催
- 会員の相互理解を目的とした「参加メンバーのためのハンドブック」作成
- 新宿 CSR ネットワークとの連携 など

### 社会福祉法人による公益的な取り組み (社会福祉法第24条第2項)

社会福祉法人の公益性や非営利性を活かし、社会情勢の変化を踏まえながら公的な制度の狭間となる地域のニーズに対して、無料または低額での福祉サービスを積極的に提供しよう努めることが社会福祉法に明示されています。

参加団体  
一覧です  
(新宿社協HP)



### お知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響で減収した方向けの緊急小口資金および総合支援資金の特例貸付について  
(申請受付期間は、3月31日(水)(必着)までです)

申請は、郵送での申請を原則とし、書類記入の支援が必要な方のみ、事前予約制で相談対応しています。より詳しい内容やご相談はHPをご覧ください。☎(5273)3546 / FAX(5273)3082までご連絡ください。



配分金などによって支えられています。

★本誌の音声CDをお貸ししています。ボランティア団体「ぐるーぶ・カナリヤ」さんのご協力によるものです。どうぞご利用ください。

区内の後見人等の

支援をしています

# 後見人等交流会

新宿区成年後見センターでは、区内で活動する親族後見人、専門職後見人、市民後見人の方々が、日々の活動について気軽に話し合える場として、後見人等交流会（後見人カフェ）を開催しています。

感染防止のため、令和2年3月、7月は中止しましたが、11月に約1年ぶりに開催し、5名の方に参加いただきました。



令和2年11月実施  
後見人等交流会の様子

次回、  
後見人等  
交流会は  
オンライン!

【日 時】  
3月9日（火）午後5時30分～午後7時30分

【開催方法】 オンライン開催（web 会議ツール Zoom を使用）

【内 容】 **第一部** ミニ講座 知っておきたい“薬”のはなし  
～認知症お薬 最前線 & 薬の疑問を解消しよう～  
**第二部** 後見人等交流会

【対 象】 区内在住・在勤・在学の後見人等、又は被後見人等が区内在住の後見人等

【定 員】 20名（先着順）

● 2月4日時点の情報です。変更になる場合がありますので、詳しくはHPまたはお問合せください。

## 参加者の声

新型コロナウイルスの影響で被後見人と面会ができず、難しさを感じています。他の後見人の方の話を聞け、参考になりました。（親族）



後見人として理解すべきことがたくさんあると感じています。親族後見人や市民後見人の方のお話が聞け、とてもよかったです。（専門職）



初めて参加しました。後見人になったばかりで迷いながら活動しています。今日はいろいろお話できてよかったです。（親族）



### 申込方法

電話・FAX・Eメール・窓口にて①～⑦を明記の上、下記までお申込みください。

- ①氏名（ふりがな） ②電話番号（もしくはFAX番号）
- ③区内在住・在勤・在学の後見人等・被後見人等が区内在住の別
- ④職種（親族・市民後見人・弁護士・司法書士・社会福祉士等）及び種類（成年後見人・保佐人・補助人・任意後見人等）
- ⑤受任年数 ⑥交流会を知ったきっかけ ⑦メールアドレス
- 申込後、3/8までに招待URL・パスワードをEメールでお送りします。
- オンラインの参加方法でご不明な点がある場合、下記までお問合せください。

問合せ 新宿区成年後見センター ☎(5273) 4522 / FAX(5273) 3082 / ✉skc@shinjuku-shakyo.jp

## 共同募金へのご協力 ありがとうございました！

感染症予防のため、今年度は多くの街頭募金活動などが中止となりましたが、町会・自治会をはじめとした皆さまにさまざまな工夫をしながらご協力いただきました。誠にありがとうございました。

### 令和2年度の募金結果

赤い羽根共同募金 : 3,114,670円  
歳末・地域たすけあい運動募金 : 7,856,408円



活動内容など、詳しくはHPまたは左記QRコードをご覧ください。

## 車椅子を無償で譲渡します

新宿社協の貸出用車椅子は、使用基準年数を5年としていますが、整備・点検の後、継続して使用できるものを、区内の町会・自治会や施設・団体でご活用いただいています。（個人の方には譲渡していません）



「自走式」と「介助式」の車椅子があります。詳しくはお問合せください。

## 四字熟語 クロスワード

矢印の方向に二字熟語になるよう文字を入れて下枠の四字熟語を完成させよう！

初	原	今	光
	1		2
降	肌	満	如
突	習	生	瓶
	3		4
台	車	造	壇
1	2	3	4

答えは4面右下にあります！

ヒント：季節の移り変わりを感じましょう

## 心のこもったご寄附ありがとうございました！ 寄附金、寄附物品の報告

他にもおむつ類などの寄附物品を地域の方々に活用いただいております。不要な未使用の物品や未開封の食品がありましたら、ご協力お願いいたします。

### 寄附金

令和2年12月31日までの受付分

月区分	寄附者名	住 所	金 額
10月	第一生命保険株式会社 新宿総合支社 親睦会	新宿区西新宿	22,000
	中澤 明恵	新宿区上落合	30,000
	社会福祉法人 サン	新宿区高田馬場	2,500
	本間 定子	新宿区西早稲田	100,000
11月	中山 信孝	新宿区西落合	1,000
	松井 尚子	新宿区市谷薬王寺町	10,000
	東京防犯健全協会 新宿支部	新宿区豊島区池袋	200,000
	公益社団法人 四谷法人会	新宿区四谷三栄町	100,000
12月	東京税理士会 四谷支部	新宿区四谷	100,000
	飯村 徹	新宿区四谷三栄町	20,000

### 寄附物品

月区分	寄附者名	住 所	寄附物品
10月	早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター	新宿区戸塚町	マスク多数
	池田 広恵	新宿区南山伏町	オムツ・パット多数
11月	株式会社 青龍未来商事	新宿区神楽坂	マスク多数
	損害保険ジャパン 株式会社	新宿区西新宿	マスク多数
	中村 真衆	新宿区若葉	オムツ多数

月区分	寄附者名	住 所	金 額
11月	学研鶴巻町教室 鈴木 庸子	新宿区早稲田鶴巻町	50,000
	菅原 一雄	新宿区市谷柳町	2,000
	加藤 昭	新宿区細工町	50,000
	社会福祉法人 サン	新宿区高田馬場	37,902
12月	前橋 文子	新宿区若松町	10,000
	新宿区フォークダンス連盟	新宿区市谷薬王寺	18,902
	石川 和子	新宿区新宿	100,000
	林 美子	新宿区愛住町	200,000
	永田 良忠	新宿区若松町	14,000
匿名 (18名)			128,327

月区分	寄附者名	住 所	寄附物品
11月	明治安田生命 新宿中央営業部	新宿区西新宿	マスク700枚、マスクケース、タオル多数
	株式会社 丸巧	新宿区高田馬場	新品カラータオル段ボール2箱
12月	平井 美子	新宿区上落合	新品シルバーカー他
	信濃町シニア活動館	新宿区信濃町	タオル多数
	東京新宿ライオンズクラブ 障がい者支援支部	新宿区西落合	ライスクッキー120個

連絡先 社会福祉法人 新宿区社会福祉協議会 〒169-0075 新宿区高田馬場 1-17-20 TEL : 03-5273-2941 (代表) FAX : 03-5273-3082 Eメール : houjin@shinjuku-shakyo.jp http://www.shinjuku-shakyo.jp

次回けやき176号は5月20日の発行です

このページの著作権は、新宿区社会福祉協議会が保有しています。無断転載を禁じます。 [ (株) 印刷 ] 印刷部

